

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公開番号】特開2015-67623(P2015-67623A)
 【公開日】平成27年4月13日(2015.4.13)
 【年通号数】公開・登録公報2015-024
 【出願番号】特願2013-200204(P2013-200204)
 【国際特許分類】

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

B 0 1 J 13/04 (2006.01)

C 0 8 J 9/32 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 3/00 1 1 1 B

B 0 1 J 13/02 A

C 0 8 J 9/32 C E R

C 0 8 J 9/32 C E Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重合体からなるシェルに、コア剤として揮発性膨張剤が内包されている熱膨張性マイクロカプセルであって、

前記シェルは、ニトリル系モノマー、及び、ラジカル重合性の二重結合及び水酸基を有する水酸基含有モノマーを含有するモノマー組成物を重合させてなる重合体と、

前記水酸基と反応する官能基を1分子中に2個以上有し、かつ、ラジカル重合性の二重結合を有しない多官能反応性化合物とを含有し、

前記重合体からなるシェルは、常温時のゲル分率を x 、180、30分加熱時のゲル分率を y とした場合に、 y が50%以上であり、かつ、 y/x が1.1以上である

ことを特徴とする熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項2】

水酸基と反応する官能基は、エポキシ基、アミノ基、カルボキシ基及びイソシアネート基からなる群より選択される少なくとも1種であることを特徴とする請求項1記載の熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項3】

多官能反応性化合物の含有量は、シェルを構成する重合体全体に対して0.1~20重量%であることを特徴とする請求項1又は2記載の熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項4】

請求項1、2又は3記載の熱膨張性マイクロカプセル及び熱可塑性樹脂を含有することを特徴とする発泡性熱可塑性樹脂マスターバッチ。

【請求項5】

請求項1、2又は3記載の熱膨張性マイクロカプセル、又は、請求項4記載の発泡性熱可塑性樹脂マスターバッチを用いてなることを特徴とする発泡成形体。

【請求項6】

請求項 1、2 又は 3 記載の熱膨張性マイクロカプセルを製造する方法であって、
水性分散媒体を調製する工程と、

該水性分散媒体中に、ニトリル系モノマー、及び、ラジカル重合性の二重結合及び水酸基
を有する水酸基含有モノマーを含有するモノマー組成物と、水酸基と反応する官能基を 1
分子中に 2 個以上有し、かつ、ラジカル重合性の二重結合を有しない多官能反応性化合物
と、揮発性膨張剤とを含有する油性混合液を分散させる工程と、

上記モノマー組成物を重合させる工程とを有する
ことを特徴とする熱膨張性マイクロカプセルの製造方法。